

## 筑後地区中小企業団体連合会が第51回通常総会を開催しました

筑後地区中小企業団体連合会（代表：重松和馬会長）は、去る令和5年6月2日に大川市の三川屋にて、通常総会を開催しました。

定刻16時00分、尾藤長司副会長が開会を宣し、続いて重松会長が壇上に立ち、「景気は緩やかに持ち直していると言われていたが、我々中小企業を巡る景況は、新型コロナの長期化、原材料・エネルギー価格等の高騰に挙げられる経営環境における問題により、依然として厳しい。このような大変厳しい経済情勢の中、本連合会では中小企業は地域経済再生の原動力であるとの認識の下、県中央会等の中小企業支援機関と連携を図りながら、様々な商工政策に筑後地区の中小企業の声を反映させるべく活動を続けていく所存である」と挨拶を行いました。

通常総会には来賓として、5名がご臨席され、このうち、荻野福岡県久留米中小企業振興事務

所所長、倉重良一大川市長より祝辞をいただきました。また、1件の祝電が届けられ、披露しました。

議案審議では、新原俊彦副会長を議長に選出し、提出された第1号議案から第5号議案まで順次審議され、第2号議案の令和5年度事業計画では会員組合への継続支援及び筑後地区の経済活性化に資する事業として、組織強化支援や小売業・地場産業の振興、地域産業連携支援などを行うこととしました。

最後に内田一良副会長より閉会の挨拶がなされ、通常総会を終了し、その後は懇親会が開催されました。



重松会長の主催者挨拶



懇親会での歓談の様子